# 参考資料１：スクールバスの必要台数試算

## １．パターン別の結果

| | 再編案の最大乗車時間（40分対策前） | ①再編案の基本必要台数（40分対策前） | 再編案の基本便数（40分対策前） | 直行便へ振り替える既存台数 | 直行便振替後の必要台数 | 直行便振替後の最大乗車時間（概算） | 年間の概算運行費用（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **市街地2拠点＋東部・西部に2拠点（東部・西部は義務教育学校）** | 31分程度 | 11台以上 | 22便/日 | 0台 | **11台以上** | **31.0分程度** | 123,370 |
| **市街地2拠点＋東部・西部に2拠点（東部・西部は小学校）** | 31分程度 | 11台以上 | 22便/日 | 0台 | **11台以上** | **31.0分程度** | 123,370 |
| **市街地3拠点** | 55分程度 | 13台以上 | 26便/日 | 5台 | **13台以上** | **38.6分程度** | 145,801 |
| **市街地2拠点＋呼人1拠点** | 56分程度 | 12台以上 | 24便/日 | 4台 | **12台以上** | **39.6分程度** | 134,585 |

※片道10km以下は市街地（25km/h・20%増）、10km超は郊外（35km/h・10%増）で通常便を試算。
※通常便で40分を超えるルートは、追加車両を投入せず、そのルートに配車済みの2～3台を平均45km/h・時間増0%の直行便へ振り替え。
　全員が同一地域から直接乗車するシミュレーション。

## ２．試算の流れ

| ① 再編案の基本必要台数を計算（40分対策前） | |
|---|---|
| **基本ルール** | ここでいう「対象人数」とは、元の通学距離データで遠距離通学に当たる区分として抽出した、スクールバス利用を見込む児童生徒の推計人数です。抽出条件は小学生が「距離ランク5（4～5km）以上」、中学生が「距離ランク7（6～7km）以上」です。<br>各校区の対象人数ごとに、40人単位で中型バスを割り当て、残りが1～25人ならマイクロバス1台、26～39人なら中型バス1台を割り当てて、全校区分の必要台数を合計します。 |
| **計算例** | 対象人数62人の場合：中型バス1台（40人）＋マイクロバス1台（残り22人）＝2台と計算します。<br>※校区ごとに計算するため、パターン全体の人数を単純に40で割った台数とは一致しない場合があります。 |

| ② 40分超ルートへの直行便を検討 | |
|---|---|
| **対象を確認** | 通常便の条件で概算乗車時間が40分を超える「出発地域から拠点校まで」の組合せを抽出します。 |
| **既存車両を直行便へ振替** | 40分超ルートに配車済みの車両を全て直行便へ振り替えます。<br>75人・78人のルートは中型2台、89人のルートは中型2台＋マイクロ1台で定員を確保し、追加車両は投入しません。 |
| **最大乗車時間を確認** | 直行便の所要時間は「片道距離÷45km/h×60分」で算出します。 |

| ③直行便シナリオの計算方法 | |
|---|---|
| **対象ルート** | 通常便の概算乗車時間が40分を超えるルートを対象とします。 |
| **直行便時間** | 途中の巡回・停車なし、平均45km/hとして「片道距離÷45×60分」で計算します。40分で走れる上限距離は30.0kmです。 |
| **配車台数** | 既存配車を使用します。75人・78人は中型2台（定員80人）、89人は中型2台＋マイクロ1台（定員105人）を直行便へ振り替えるため、追加台数は0台です。 |